



平成 23 年度 山口県立大学郷土文学資料センター公開講座

やまぐちの文学

受講
無料

平成 23 年

日時 5月28日(土)～6月18日(土)

13:30～15:00 (毎週土曜日・全4回)

会場 平生町中央公民館 〒742-1102 熊毛郡平生町大字平生村 178

山口県にゆかりのある文学をもう一度見直し、郷土の文学への理解を深めてみませんか？

日時	テーマおよび講座内容	講師
第1回 5月28日(土) 13:30～15:00	瀬戸内の文学 一国木田独歩を中心に 白砂青松の瀬戸内海を、古来人々は海の廊下のように往来しました。様々な波風の音を聞きながら…。若き日の文豪国木田独歩は、その風景から大きな影響を受けました。作品と生涯を通して、探してみたいと思います。	山口県立大学 名誉教授 福田 百合子
第2回 6月4日(土) 13:30～15:00	江戸時代の小説に描かれた大内氏 戦国大名・大内氏は中世末期に滅亡しましたが、その名は江戸時代の複数の小説に登場します。いずれも虚構(フィクション)なのですが、その描かれ方には特色があるようです。この点を追求しながら、江戸時代の小説を味わってみましょう。	郷土文学資料センター 研究員 木越 俊介
第3回 6月11日(土) 13:30～15:00	与謝野鉄幹と林滝野 林滝野は、与謝野鉄幹が鳳晶子と結婚する前の妻だった、山口県出身の女性です。雑誌『明星』創刊前後の文学史的な事情をお話ししながら、滝野と鉄幹の間柄を紹介しようと思います。	郷土文学資料センター 研究員 加藤 禎行
第4回 6月18日(土) 13:30～15:00	鷺流狂言の世界 山口市には、全国でも珍しい鷺流狂言(山口県指定無形文化財)が伝わっています。なぜそれが山口に残ったのか、またその価値はどのようなところにあるのかをお話しします。また、ビデオ映像による舞台鑑賞も行います。	郷土文学資料センター 所長 稲田 秀雄

- ◆定員 35人(定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。)
- ◆受講方法 原則全講座受講としますが、部分受講も可能です。全講座を受講された方には修了証を授与します。
- ◆申込方法 はがき、電話またはFAXで、住所・氏名・電話番号を下記の宛先までお知らせください。
〒742-1102 熊毛郡平生町大字平生村 178 平生町教育委員会 社会教育課
TEL 0820-56-6083 FAX 0820-56-7151
- ◆締切 平成23年5月18日(水)
- ◆受講通知 講座開始前頃、各自へお知らせします。

〈主催〉山口県立大学 〈共催〉平生町教育委員会 〈後援〉山口県立大学同窓会桜園会柳井支部

